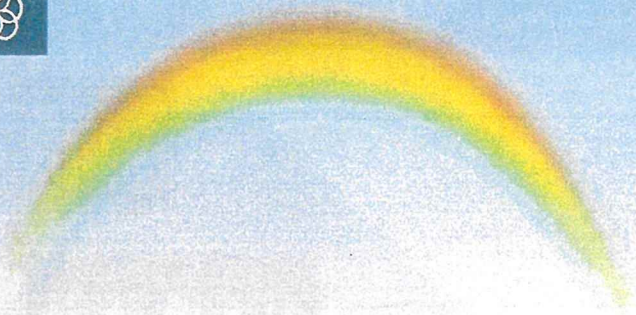




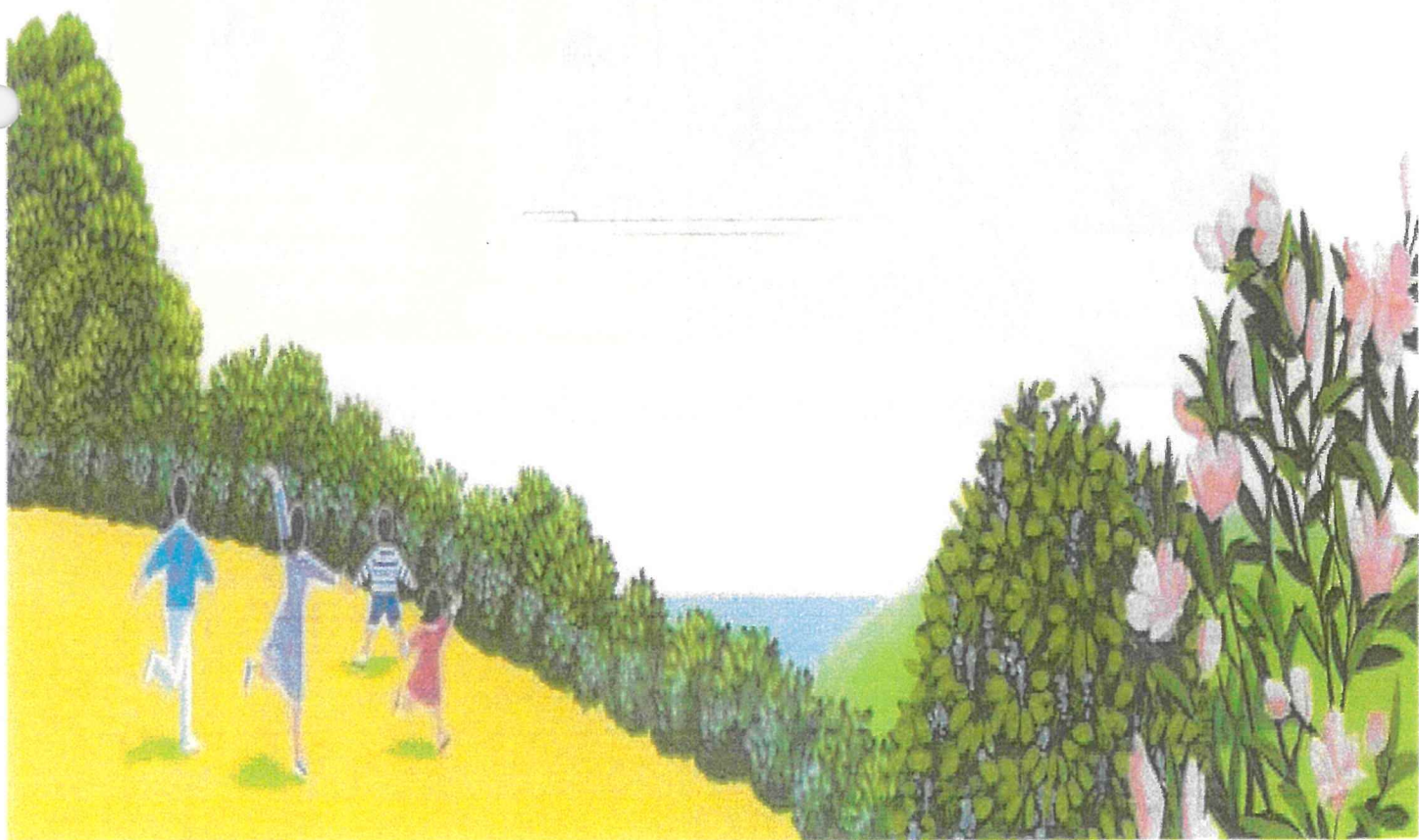
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



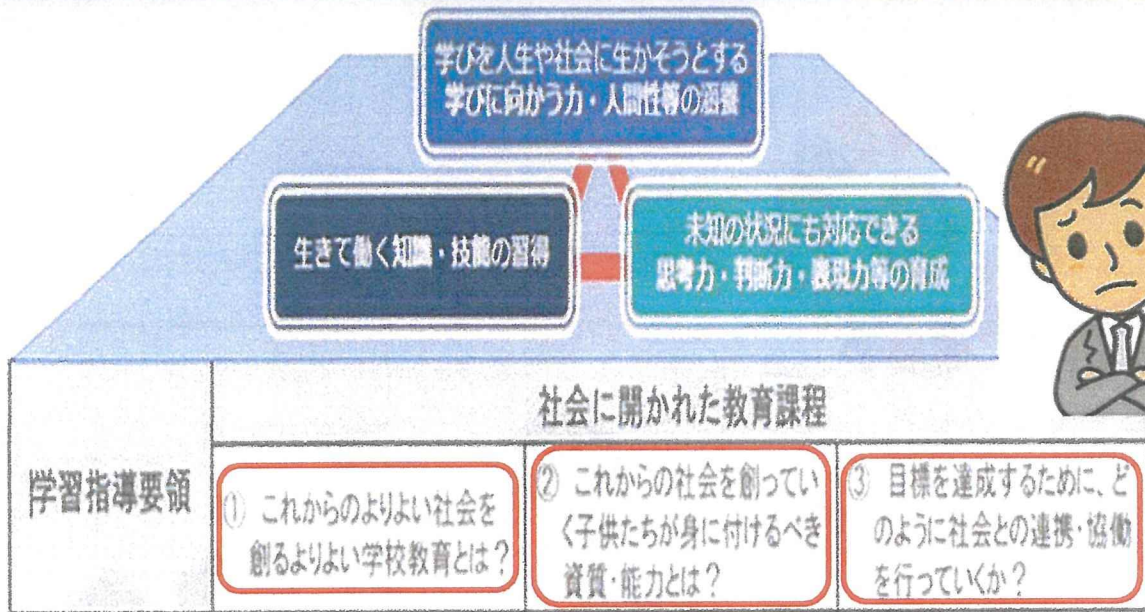
# 赤道小学校

## SDGs達成に向けた学校・学級経営

～理想の学校・学級づくりをめざして～



# 地域と学校の連携・協働 —社会に開かれた教育課程の実現



## 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進

**方策5**

**つなぐ（学校連携・地域連携）**

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校連携・地域連携を推進する。

これからの学校では、ESD（持続可能な開発のための教育）を通じたSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて、一人一人の児童生徒が持続可能な社会の創り手となることのできるように取り組むことが求められる。また、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に必要とされる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現が重要である。そのために、以下の3点を推進する。

**□市町村の特色を生かした施策推進による学校づくり**

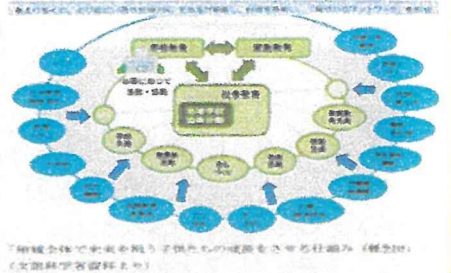
市町村においては、地域の実情や課題に応じた教育課程の編成や、地域の特色を生かした教育活動に取り組んでいる。市町村教育委員会の施策を生かし、緊密な連携を図りながら、研究指定校の委託や学校支援訪問等を通じて学校への指導・支援を充実させ、連絡協議会等を開催し、情報共有を図る。

**□キャリア教育の視点を踏まえた校種間の連携強化**

授業や行事での交流等を校種間で計画的に行うことで連携を図る。特別活動を要としたキャリア教育では、「キャリア・パスポート」等を活用しながら、小・中・高等学校等の12年間を系統的・継続的に支援することで、自己実現に向けて児童生徒自ら見通しを持ち、振り返りを行うなど、主体的に学びに向かう力を育む。

**□学校・地域・家庭の互恵的関係の構築**

保護者や地域住民等による、学校運営や教育活動への参画のために、学校運営協議会等の開催を通じて、各学校で育成を目指す資質・能力、教育目標や教育課程などを、学校、保護者、地域間で共有しながら相互に支え合う互恵的関係の構築を図る。



**「県学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトⅡ」参考**



元マサチューセッツ工科大学のダニエル・キム教授による「組織の成功循環モデル」参考

# 学校運営協議会の開催

## 1 学校運営協議会内容

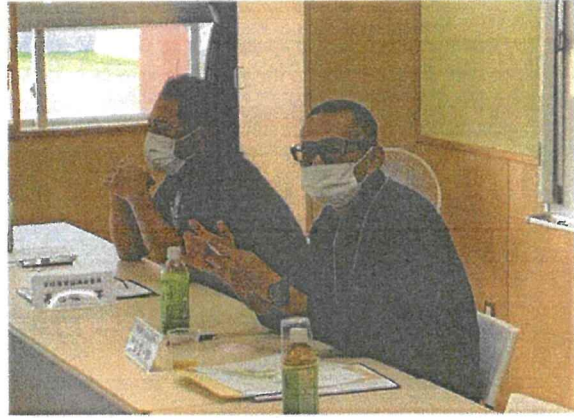
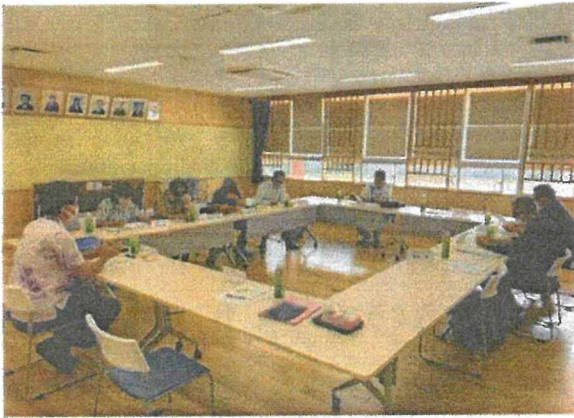
【令和4年度】

○10月26日(水)に、第1回学校運営協議会を開催した。

- ・授業参観
- ・学校経営方針の説明・質疑
- ・各委員より「目指す赤道小学校の児童像」の発表・共有
- ・地域社会の悩み、要望とは？

○2月21日(火)に、第2回学校運営協議会を開催した。

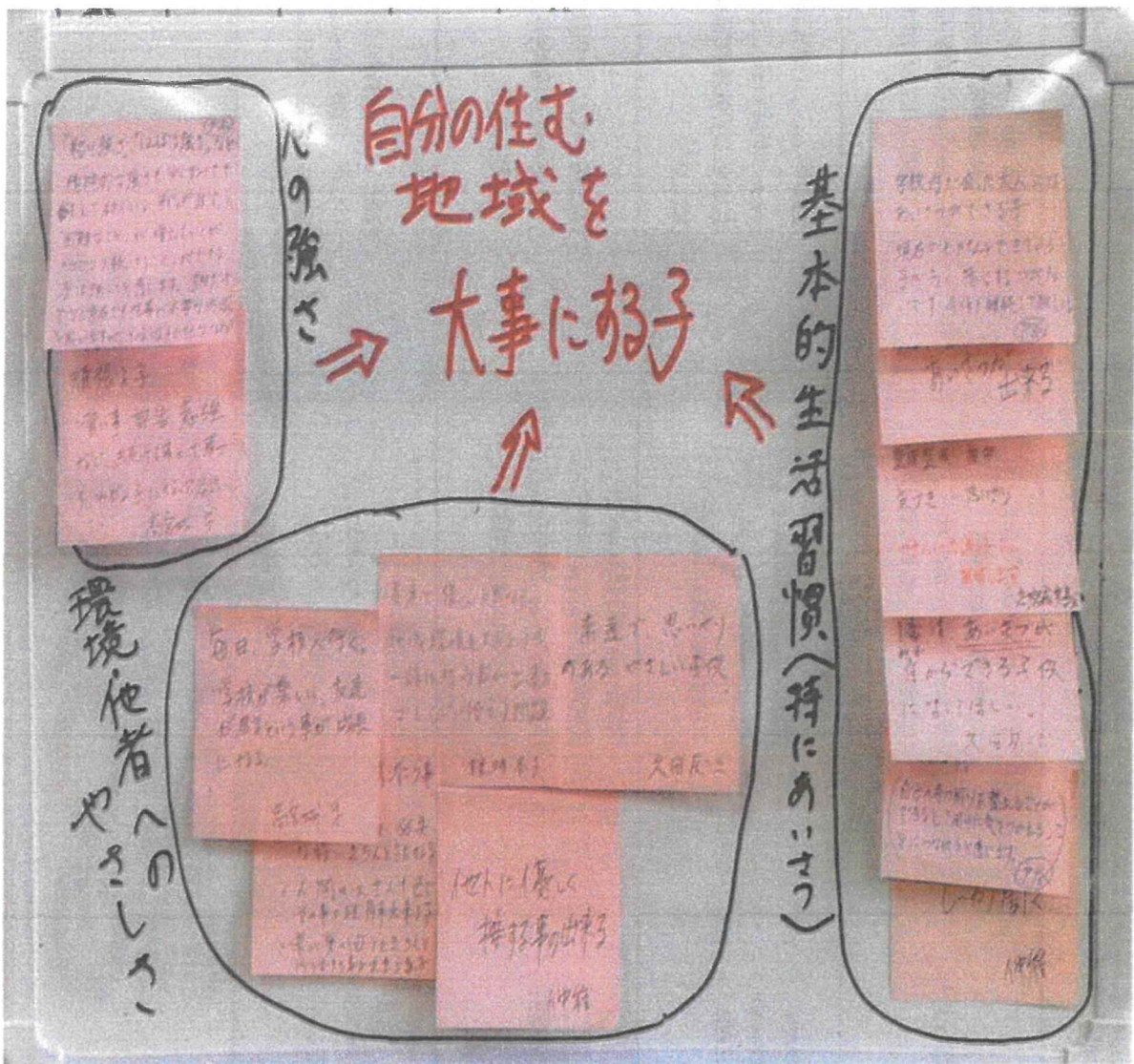
- ・学校報告
- ・協議
- ・次年度経営方針について
- ・今年度の評価について
- ・次年度経営方針について
- ・次年度委員委嘱について



○学校運営協議会委員による「意見」「願い」をもとに、次年度学校経営ビジョンを策定した。

○その上で、「SDGs」を中核としたカリキュラムマネジメントを作成し、年間を通して「地域との連携」を充実させる。

○そのことにより、めざす学校像、子供像、教師像を学校・家庭・地域が共有し、持続可能な社会を担う人材を育成する。



## 地域の悩み・願い

1. あいさつのできる子供にそだてたい
2. ポイ捨てされたゴミが目立つ
3. 捨て猫・捨て犬
4. 地域の伝統芸能の継承